



篤姫「One More Stay」ルート

- 坂本龍馬・お龍のハネムーンロード
- 浜之市
- 鹿児島神宮
- 日当山温泉
- 和気神社
- 犬飼滝
- 塩浸温泉
- 霧島温泉郷
- 高千穂河原
- 霧島神宮
- 華林寺



慶応2年、寺田屋事件で九死に一生を得た坂本龍馬は、小松帯刀や西郷隆盛らのすすめで、鹿児島を訪れ、霧島では26日間を過ごしています。妻お龍とともに温泉で傷をいやし、霧島の大自然に触れる旅は、龍馬の生涯で楽しい時間となったことでしょう。

※営業時間や休業日などは変更となる場合もありますので、おでかけ前に各施設にお問い合わせください。

ボランティアガイド情報 霧島しっちょいどん

霧島神宮、和気神社、塩浸温泉3か所の定点ガイド(各20分)と日当山地区を歩くコース(約2時間)をご案内します。

【案内時間】午前8時30分～正午、午後1時～午後4時

【料金】1人1か所200円

【申込】前日午後4時30分までに、所定の申込用紙によりFAXで申し込む。

【問い合わせ】霧島市観光ボランティアガイド

「霧島しっちょいどん」事務局(霧島市観光課)

TEL 0995 (64) 0895 FAX 0995 (64) 0958

第29回 天璋院篤姫のふるさと探訪(霧島市)

龍馬・お龍の霧島物語 ハネムーンロードをめぐる旅。

鹿児島は広い!旅ガラスのごとく広い県土を飛び回り、鹿児島の観光地を紹介します。今回は篤姫ゆかりのスポットを紹介するシリーズ「天璋院篤姫のふるさと探訪」の5回目です。日本初の新婚旅行で鹿児島にやってきた坂本龍馬とお龍の足跡をたどります。

1 和気神社 霧島市観光課 0995(45)5111



和気公の災難を救い無事に道先案内役を務めたと言い伝えのあるイノシシが交通安全の神・和気公の随神・神使い・守護神として崇められています。

龍馬が訪れたときは、まだ神社は建立されていませんでしたが、龍馬が姉乙女への手紙に「和気公いおりを結びしところ」と書いたように「このあたりは奈良時代末期から平安時代初期にかけて国の官僚として活躍した和気清麻呂公ゆかりの地。和気公は当時の権力者であった道鏡によって流されて、この地に滞りました。

2 犬飼滝 霧島市観光課 0995(45)5111



白い帯状に流れ落ちる秀麗な姿、青緑の滝つぼ、辺りに響く瀑音。深い緑の山あいを割って落ちる景観は見事です。

龍馬が「げにこの世の外かと思われるほどのめずらしきところなり。」と感動したという清冽な滝。駐車場のある滝見台付近から霧島連山を背景にした滝を展望することができ、遊歩道が整備されており滝壺まで10分ほどでたどり着けます。滝を間近に見ることができおすすめです。



「篤姫」キャンペーン オフィシャルキャラクター

3 塩浸温泉 霧島市観光課 0995(45)5111



川沿いに残る龍馬・お龍の湯治の浴槽。

龍馬とお龍が霧島の旅の中で、一番長く逗留した地がここ。当時から「刀や斧による傷に薬効がある」と言われていたらしく、左手に傷を負った龍馬にはピッタリの泉質だったのでしょう。

今も龍馬とお龍が実際に入った浴槽が残っています。残念ながら、今はこの浴槽に入ることはできないので、同じ温泉を体験したい方は、敷地内にある「鶴の湯」をご利用ください。



近くには坂本龍馬とお龍の記念碑が立っています。



1日に8万石という湯量に圧倒される、真正正銘、源泉かけ流しの湯。(硫黄谷温泉霧島ホテル)

霧島連山の裾野に湧き出る霧島温泉は、硫黄谷・丸尾・栄の尾など大小8つの温泉からなる、雄大なロケーションに抱かれた、静かな山のリゾートです。龍馬とお龍が宿泊した硫黄谷温泉「霧島館」では、主人の堀切武右衛門が、シャモをつぶし、薩摩料理で龍馬を歓待したそうです。

美しい自然をたたえた硫黄谷温泉は溢れる湯量で昔も今も旅人を癒しています。

5 高千穂河原(高千穂峰) 高千穂河原(イクラビンスター10995(5)2105)

天界から、神が地上に降り立ったと言われ、「天孫降臨」の第一歩をしるした山として知られる高千穂峰。春はマンサクやミツバツツジ、夏はミヤマキリシマ、秋は銀色のススキ、紅葉、冬は樹氷。四季折々、今も多くの登山者を魅了するこの山に、龍馬もお龍とともに登りました。



韓国岳から見た高千穂峰。龍馬が登山したのもミヤマキリシマが満開の頃でした。



目の前に広がる霧島連山とさわやかな空気が清々しい高千穂河原。自然散策路が整備されているので、「登山はちょっと…」という方にもおすすめ。鹿が顔を出すことも。

龍馬はこの登山の様子を「男子でも登りかねるほど、危路なることたとえなし。焼石さらさら泣きそうになる。…あまり危なく手を引き行く」と書いています。お龍と手を取り、苦労して登っていく様子が目に浮かびます。



現在の社殿は江戸中期、正徳5(1715)年、第21代藩主島津吉貴公により造営寄進されたもの。平成元年に本殿・幣殿・拝殿・登廊下・勅使殿などが国の重要文化財に指定されています。

深い緑に朱塗りの社殿が美しい霧島神宮は、まさに天孫降臨の地にふさわしい神々しさを漂わせています。龍馬とお龍は、高千穂峰登山の後、この神宮を参拝し、社殿や「神木を興味深く見たそうです。」



龍馬が見たという樹齢800年のご神木。その威容は長い歴史と風格を感じさせます。

大河ドラマ「翔ぶが如く」のロケでも使われ、「篤姫」では、参勤交代に向かう大名行列の様子が撮影されました。

足をのばせば
ドラマロケ地情報

◎龍門司坂
江戸時代、薩摩と江戸を結んだ主要街道の一つ大口筋。龍門司坂はこの街道に残る石畳の坂で、今なお、藩政時代の名残をとどめる貴重な道として「歴史の道百選」にも選定されています。苦むした静かな雰囲気は当時を偲ばせます。

第13回龍馬ハネムーンウォークin霧島

参加者募集

龍馬とお龍が歩いた霧島路を歩いてみませんか?
2009(平成21年) 3月14日(土)・15日(日)

◎3月14日(土) 霧島温泉コース (距離約10km)
犬飼・中津川コース (距離約23km)
妙見温泉コース (距離約15km)

◎3月15日(日) 花はきりしま菜の花コース (距離約12km)
龍馬高千穂登山コース (距離約5km)
隼人・天降川コース (距離約20km)
日当山温泉コース (距離約8km)

《お申込み・お問い合わせ》
龍馬ハネムーンウォーク実行委員会事務局
(霧島市観光課内)
TEL 0995-45-5157

ぼっけ鍋を食べるには?

鹿児島県霧島市内で「霧島神話ぼっけ鍋」のぼりが立つ旅館・ホテル・飲食店で味わうことができます。

《問い合わせ先》
霧島市商工会
0995(4)21128
霧島温泉ソサエティ
0995(7)82525

「霧島でしか味わえない料理を」との想いから、霧島市内のホテル、旅館など16軒の調理長が力を合わせて、研究開発した「霧島神話ぼっけ鍋」。

月に数回しか生産されない希少なブランド豚「霧島熟成神話豚」や、「霧島熟成黒豚」「霧島熟成白豚」、地元で採れた旬の野菜をふんだんに使った地産地消の鍋ができました。「豚味噌」「豆乳」「しょうゆ」の3種類の味が楽しめます。

野菜、豚足、軟骨、山芋団子はそれぞれの持ち味が生きるよう、切り方や下処理を工夫しています。さつま芋類は、もちもち、ぷりっとした食感を出すため、粉の配合割合を試行錯誤しました。こだわって作っていますので、ぜひ一度食べてみてください。寒い季節は、心も体もあたたまりますよ。

ぼっけ鍋の発起人原田調理長と豚味噌味の発案者麦田さん(霧島温泉ソサエティ)

霧島でしか味わえない新名物!

豊かな自然に育まれた旬の味
「霧島神話ぼっけ鍋」誕生